

ローマ人への手紙 第8章 28節

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

夏到来なのに戻り梅雨のような天気が数日続いている。カンカン照りではなく、ザーザー雨の日である。酷暑の直後は湿度が高くなるが、ややしのぎやすい温度になる。畑仕事をする者やガーデニングを楽しむには丁度良い湿り気である。日照りが続き、渇水対策を慌ただしく進める者たちにとっては一時の安心となる。立場、持ち場により同じ雨も異なって受けとめられる。

神に触れられた者は雨をどのように受けるだろうか。神の愛に触れた者は雨をどのように受けとめるだろうか。恵みの雨と受けとめ、その源が空に浮かぶ雲を突き抜けて、創造主なる神への感謝となる。良い者にも悪い者にも降り注ぐ雨を、自然現象にとどまらず、人々に注がれる神の愛の眼差しと知る。場合によっては、この雨が悲しみ痛む人々のために流される神の涙のようにさえ感じる。

どのような雨であったとしても、神を愛する人々にとっては、ただの雨とはならず、神の思いが込められ人々を包み込む愛と慈しみのときとなる。雨を通して現れる創造主のころがある。

2022年7月26日